様式３

有害プランクトン警報
（R2　No.1-1）

令　和　２　年　１　２　月　９　日
千葉県水産総合研究センター

東京湾内湾の幕張沖、千葉沿岸海域でカレニア　ミキモトイが、警戒を必要とする基準を超える密度で確認されました。

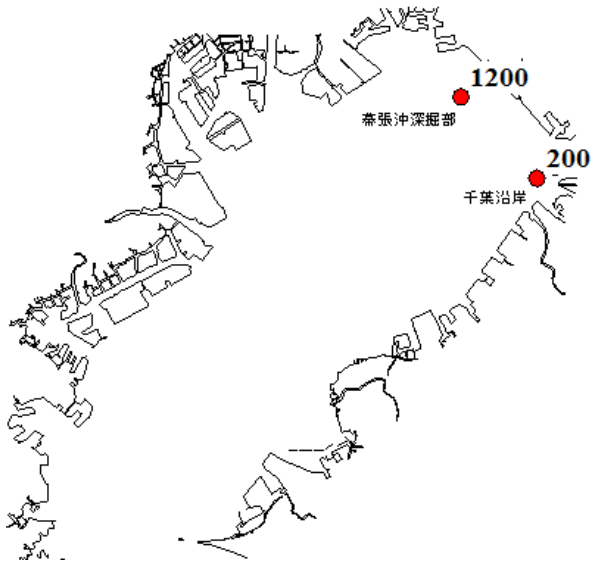
令和２年 12 月８日に県環境研究センターが行った調査において、内湾の幕張沖深掘部および千葉沿岸で、有害プランクトンのカレニア　ミキモトイが確認されました。

発生密度の高い海域周辺では、養殖魚、蓄養魚などに影響が出る可能性があるので十分警戒して下さい。

また、気象、海象によっては、他の海域でも増加する可能性があるので警戒が必要です。

・確　　認　　日　　令和２年 12 月８日
・確　認　海　域　　東京湾内湾（幕張沖深掘部、千葉沿岸）
・プランクトンの種類　　カレニア　ミキモトイ

注意基準を超えた調査地点	プランクトン密度（細胞/mL 程度）
幕張沖深掘部	1,200
千葉沿岸	200
注意基準密度	100
警戒基準密度	1,000



（環境研究センター調査）

１　本種は楕円形をした小さなプランクトン（10～30μm）で，２本の鞭毛を持ち，回転しながら泳ぎます（右写真）。出現時期は春～秋で，梅雨の時期には赤潮を形成することがあります。

本種が，海水１ mL あたり 10,000 細胞以上に増えると，生簀の養殖魚が酸欠等により死亡することがあり，数日停滞した場合には天然魚にも被害が及ぶことがあります。

２　今回、本種の赤潮はパッチ状に分布していました。

３　海況の変化や魚の動きに十分注意し，必要に応じて餌止め等，早めの対応をお願いします。

４　赤潮等，海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター，漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。

担当　水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
電話　0439-65-3071
FAX　0439-65-3072